

2014年3月期第2四半期決算 決算説明会 Q&A (要旨)

Q：金融 IT ソリューションセグメントの営業利益率が改善（前年同期比 1.7 ポイント増）した主な要因は？

A：稼働率の向上や、株式市場の活況による運用サービス収入（ボリューム連動料金部分）の増加、などが挙げられる。

Q：IT 基盤サービスセグメントの営業利益率が悪化している主な要因は？

A：新データセンターの減価償却費、新データセンターが開業間もないためコストが先行していること、IT 基盤構築関連の一部プロジェクトで追加コストが発生していること、などが挙げられる。

Q：金融関連分野のプロジェクトが増えていると思うが、人的リソースに不足感はあるか？

A：銀行向けの一部プロジェクトや保険業向けの新規プロジェクトでは、プロジェクトの立ち上げのため、社員の稼働率が高い状況になっているが、国内・中国協力パートナーなど外部のリソースも活用することにより対応していく。

Q：外注単価は上昇しているか？

A：国内協力パートナー、中国オフショアパートナーともに大きな単価上昇は顕在化していない。直近では中国への発注の伸びが大きく、中国オフショア比率が高まることでトータルコストの伸びは抑えられている。

Q：NISA（少数投資非課税制度）関連のプロジェクトは、どのような形で売上高に寄与するか？

A：共同利用型サービスの NISA 対応機能については、制度開始以降、サービス利用料収入が増加する。一方、個別 SI で対応している分については、既に売上高に寄与している。

以上